

岐阜県立大垣工業高等学校

学 校 長 浦山 朋征

学校住所 岐阜県大垣市南若森町 301 番地 1 電話 0584-81-

1280

---

1 会議の名称 岐阜県立大垣工業高等学校 学校運営協議会 (令和2年度第3回)

2 会議の構成 (敬称略)

○委 員	大石 玉穂	同窓会事務局
	亀山 真弘	大垣警察署 生活安全課長
	川崎 保典	イビデン株式会社 執行役員 経営企画本部本部長付 同本部 総務部長
	小塚 生開	共立紡機株式会社代表取締役
	川西 和彦	育友会会長
	高木 悦子	育友会副会長
	多賀 英昭	太平洋工業株式会社 品質保証部 副参事
	長瀬ちえ子	大垣夢ある女性の会 事務部長
	二村 勝	岐阜県PTA連合会顧問
	古田 一代	地域代表
○学 校	浦山 朋征	校長
	竹中 啓行	事務部長
	山内 義之	副校長
	土田 修三	教頭
	中田 卓生	教頭

3 会議の目的 「岐阜県立大垣工業高等学校 学校運営協議会設置要綱」に基づき、令和2年度の教育方針・重点及び学校課題を説明し、学校運営に必要な支援を得るべく、協議や意見交換を行う。  
協議テーマである「本校の良さを生徒の姿で地域に伝え、地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくり」について提言を受ける。

4 会議の開催 書面開催

5 会議の概要

(1) 令和2年度自己評価と改善(全日制)について

(2) オンライン課題研究発表会 令和3年2月12日(金)～19日(金)

(3) 令和3・4年度研究指定 地域産業の担い手育成総合戦略事業

～地域資源を活用した専門的職業人の育成事業～ 事業計画について

(4) 令和2年度自己評価と改善（定時制）について

6 委員からのご意見

意見 1 新型コロナウイルスの影響で学習の遅れ等を心配したが、教員が創意工夫し、熱心に取り組んでくれた。今年度の進路も昨年並みであったとのこと良かったと思う。

意見 2 オンライン授業が手探りの状態で行われ、保護者には物足りなく、満足できるものではなかった。今後、教員間、学校間でICT機器のより良い活用について研鑽し、有意義なものになるとよい。

意見 3 決まりを守る意義をしっかりと教えてほしい。相手の立場で物事を考える心を育ててほしい。

意見 4 他校と比べて生徒指導が厳しく、しっかりと取り組まれている。今後は、長期欠席者への対応（心のケア）をしっかりと行い、進路変更する生徒の減少を望む。

意見 5 MSリーダーズ活動をはじめとした各種活動への尽力は大変ありがたい。今後も自転車盗難防止や交通事故防止等の啓発活動への協力をお願いしたい。

部活動後に大勢でコンビニ等を利用することについて、指導してほしい。

意見 6 適切な進路指導がされている。学力を向上させ、目標を高く持って大学進学を目指すような生徒の姿勢が見られるとよい。

意見 7 大工未来手帳の活用が定着するとよい。ぜひ手帳を拝見したい。

意見 8 進学したいと思っても家庭の事情等により難しいことがあるかもしれない。基礎学力の向上は勿論のこと、本校ならではの強みを生かして指導してほしい。

意見 9 保護者の評価が下がっていることが気になる。保護者への情報発信をもっとしていただきたい。

意見 10 個々の生徒に対する最も良い指導は何かを考え、対応してもらえるよう期待したい。

意見 11 課題研究発表会は、問題解決手法とまではいなくても、基本的なP D C Aの考え方がある程度できており、大変良かった。この考え方は社会に出て役立つと思う。

意見 12 地域産業の担い手不足は喫緊の課題である。卒業生を活用するなど、しっかり取り組んでいただきたい。

意見 13 「専門的職業人」、「地域産業」とは何を指すのか？本校の目指す姿をより分かりやすくしてほしい。外部機関又は企業とのコラボや、ICTの活用等によるITリテラシーの向上が重要である。

意見 14 定時制高校の在り方が変わってきており、生徒も多様な課題を抱えているため学校での指導は本当に大変だと思うが、しっかりと取り組まれている。じっくりと生徒の育成に尽力してほしい。

意見 15 定時制生徒が抱える課題についてよく理解できているが、その解決や対応は大変難しいと感じる。特に学力差が大きく、不安定な環境下にある生徒への対応を考慮してほしい。

意見 16

意見 17

意見 17

## 7 会議のまとめ

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな教育活動を制限せざるを得ない状況においても、生徒は前向きに学びを深めた。次年度は「学びを止めない」という意識のもと、感染防止対策を講じ、社会人基礎力を身に付けさせる行事等の取組を実施したい。

- ・思い描いた高校生活を送れず、不安を感じ、様々な悩みを抱えた生徒が増えている。そ

のよ

うな生徒に対し、一層、組織として手を差し伸べることができるよう改善していきたい。

- ・令和3・4年度研究指定の「地域産業の担い手育成総合戦略事業」においては、本校が抱える課題を明確にし、多くの方からご意見をいただきながら、今後も地元から必要とされる大垣工業高校であり続けるとともに、ものづくりの技と心を兼ね備えたエンジニアリーダーの育成を、本校職員が一丸となって進めていきたい。

- ・工業高校での3年間の集大成となる課題研究発表会は、オンラインを利用して実施し、高い評価をいただいた。今後も本校の取組を積極的に情報発信し、大垣工業高校の良さをPRしていきたい。

- ・委員の皆様よりいただいた貴重なご意見を、今後の学校教育に生かしていきたい。今後ともご支援とご協力を賜りますよう、宜しく願いいたします。